

2024年4月8日

報道各社 御中

連合熊本「2024春季生活闘争」第一回賃上げ回答集計結果について

日頃より連合運動に対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、2024春季生活闘争につきまして、熊本県内の賃上げに関する第一回目の集計を行いましたので、結果を報告いたします。

【概要】

○ 全国では全体も中小組合も、比較可能な2013闘争以降で最も高い5.24%を超える賃上げ

平均賃金方式で回答を引き出した2,620組合の加重平均は16,037円5.24%（昨年同時期比4,492円増1.54ポイント増）、うち組合員300人未満の中小組合1,600組合の加重平均は12,097円4.69%（同3,543円増1.27ポイント増）となった。いずれも、比較可能な2013闘争以降で最も高い集計となった。

○ 熊本県でも昨年を上回る4.47%(12,660円)、中小組合300人未満でも4.11%(10,348円)と一万円を超える賃上げを獲得

熊本県全体の賃上げ額は12,660円4.47%（昨年同期比+3,356円1.03ポイント増）、300人未満で10,348円4.11%（昨年同期比+3,299円1.15ポイント増）300人以上で13,182円4.55%（昨同期+2,723円0.85ポイント増）となった。全体も中小組合も、額・率とも昨年を超える賃上げとなった。第一回目の集計だが、4%を超えるのは32年ぶりの状況である。また、300人未満、300人以上の集計結果は、昨年同期の全国集計を超える（300人未満+1,794円0.69ポイント増、300人以上+1,857円0.83ポイント増）状況となった。

○ 賃上げが明確に分かる組合では、全ての組合がベースアップを獲得！

賃上げが明確にわかる組合のうち、これまで熊本県内で回答のあった46組合の全てでベースアップ（賃金改善）を獲得できた。また、すべての業種でベースアップが実施され、特に「製造業（自動車・船舶）」、「商業流通」が5%を超える賃上げ率でけん引している。また、2024年問題で働き方改革が必要とされている「交通運輸」部門でも報告のあった全ての8組合で、ベースアップが実施されている。今後も随時、闘争結果の報告が上がってくる予定。

今回の集計でも、人材の確保や流出防止の観点から、昨年同様に「初任給の引き上げ」、「ベースアップ（ベア）」の獲得や妥結見込みといった報告が多く、一部では組合要求以上の回答や、労働協約条件の改定など、昨年以上にその傾向が強いという報告が上がっている。

○ 熊本県の中小地場組合の交渉はこれからが本番

中小地場組合の交渉はこれからが本番である。熊本でも現時点で高い水準となっているのは、先行組合が作り出した「大幅な賃上げの流れ」をしっかりと引き継ぎ、組合員の生活安定のため「人への投資」を基本とした賃上げや労働環境の整備などの粘り強い交渉を行った成果と受け止めている。連合熊本は、引き続き、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」「価格転嫁」に向けた取り組みを強化し、構成組織とともに、未解決組合の交渉を支援していく。

以上

※今後の公表予定

- ・5月10日（金）第2回回答集計結果
- ・6月7日（金）第3回回答集計結果

《問い合わせ先》

担当：連合熊本 齊藤

電話：096-375-3811

連合熊本

検索



2024春季生活闘争 賃上げ回答集計

2024年4月5日現在

全国集計		組合員数による加重平均					
平均賃金方式	2024回答 (2024年4月4日公表)			昨年対比	2023回答 (2023年4月5日公表)		
	組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計		組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計
	組合員数				組合員数		
	2,620 組合 2,370,728 人	16,037 円	5.24 %	4,923 円 1.54 ポイント	2,484 組合 2,262,647 人	11,114 円	3.70 %
300人未満	1,600 組合 172,630 人	12,097 円	4.69 %	3,543 円 1.27 ポイント	1,528 組合 164,659 人	8,554 円	3.42 %
300人以上	1,020 組合 2,198,098 人	16,363 円	5.28 %	5,038 円 1.56 ポイント	956 組合 2,097,988 人	11,325 円	3.72 %

※ 2024回答と2023回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

熊本集計		組合員数による加重平均					
平均賃金方式	2024回答 (2024年4月8日公表)			昨年対比	2023回答 (2023年4月6日公表)		
	組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計		組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計
	組合員数				組合員数		
	53 組合 21,378 人	12,660 円	4.47 %	3,356 円 1.03 ポイント	46 組合 10,824 人	9,304 円	3.44 %
300人未満	35 組合 3,940 人	10,348 円	4.11 %	3,299 円 1.15 ポイント	30 組合 3,445 人	7,049 円	2.96 %
300人以上	18 組合 17,438 人	13,182 円	4.55 %	2,723 円 0.85 ポイント	16 組合 7,379 人	10,459 円	3.70 %

※ 2024回答と2023回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

賃上げ分が明確に分かる組合の集計 (熊本集計)

平均賃金方式	2024回答 (組合員数による加重平均)					【参考：前年同期】2023回答 (組合員数による加重平均)				
	組合数	計	定昇相当分	賃上げ分		組合数	計	定昇相当分	賃上げ分	
	組合員数					組合員数				
全体	46 組合 19,670 人	額(円) 13,086 率(%) 4.59	4,812	8,274		43 組合 10,548 人	額(円) 9,479 率(%) 3.51	3,232	6,372	2.37
300人未満	31 組合 3,553 人	額(円) 10,768 率(%) 4.41	4,230	6,537		27 組合 3,169 人	額(円) 7,394 率(%) 3.12	3,077	4,287	1.84
300人以上	15 組合 16,117 人	額(円) 13,597 率(%) 4.63	4,941	8,657		16 組合 7,379 人	額(円) 10,459 率(%) 3.70	3,304	7,268	2.61

※ 「定昇相当」と「賃上げ分」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「定昇相当分+賃上げ分」と一致しません。

※ 2024回答と2023回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

前年・前々年最終集計

平均賃金方式	2023回答 (組合員数による加重平均)					【参考：前年同期】2022回答 (組合員数による加重平均)				
	組合数	計	定昇相当分	賃上げ分		組合数	計	定昇相当分	賃上げ分	
	組合員数					組合員数				
全体	76 組合 21,809 人	額(円) 10,576 率(%) 3.80	4,071	6,588		72 組合 17,556 人	額(円) 5,774 率(%) 2.15	4,418	1,367	0.49
300人未満	52 組合 5,784 人	額(円) 7,482 率(%) 3.12	3,603	3,880		53 組合 5,923 人	額(円) 4,688 率(%) 1.94	3,766	923	0.38
300人以上	24 組合 16,025 人	額(円) 11,693 率(%) 4.05	4,244	7,565		19 組合 11,633 人	額(円) 6,566 率(%) 2.32	4,894	1,594	0.57

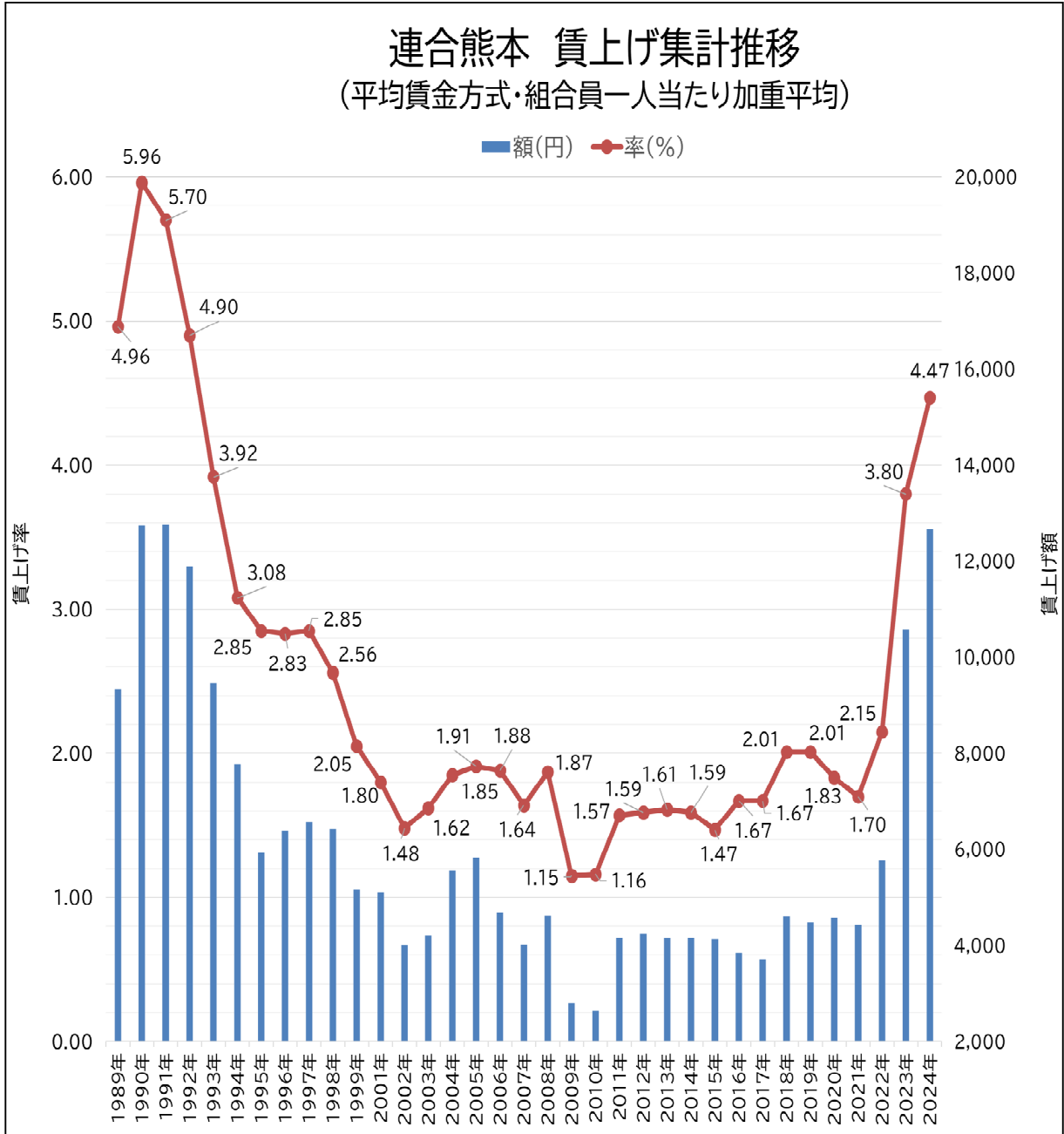
※ 「定昇相当」と「賃上げ分」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「定昇相当分+賃上げ分」と一致しません。

※ 2023回答と2022回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

以上



【参考資料】



※2024年以外は最終集計の数値

